

県(知事・土木部・農林部・水産部・各振興局長)

選ばれる「新しい長崎県」へ 部局横断・融合的な取組を推進

長崎県知事 大石賢吾



新年明けましておめでとう
ございます。

県民の皆様には、健やかに
新春をお迎えのこととお慶び
申し上げます。

昨年を振り返ってみます
と、新型コロナウイルス感染
症の法律上の位置付けが変更
され、社会経済活動の正常化
に伴い、様々な交流が促進さ
れた年でありました。

9月に開業1周年を迎えた
西九州新幹線は、多くの方に
ご利用いただくとともに、駅
周辺の再開発など沿線市のま
ちの佇まいも大きく変わり、
県内に新たな賑わいをもたら
しております。

また、「長崎ヴェルカ」が
見事にB1昇格を達成され、
多くのブースターの皆様にも
県内外から応援にお越しいた
だいております。

さらに、海外との交流にお
きましても、5月のG7長崎
保健大臣会合以降、国内外に
おける本県の知名度が向上す
る中、私も8月にベトナムを
訪問し、本県への人材支援を
一層進めることを確認するな
ど、各国・地域との協力関係
を強化することができまし
た。今後とも、本県との交流
がある国々の政府要人や経済
界の方々との意見交換を行い、
交流促進に取り組んでまいり
ます。

県では、県民の皆様が本県
に誇りや未来への期待感を持
ち、本県が国内外に存在感を
示していけるよう、「未来大
国」をコンセプトとするビジ
ョンの策定を進めておりま
す。ビジョンにおいては、重
点的に取り組み分野ごとに、
概ね10年後のありたい姿と、
その実現に向けた施策の方向
性などをお示しすることとし
ており、県民の皆様と一緒に、
選ばれる「新しい長崎県」を
目指してまいりたいと考えて
おります。

そのため本年は、ビジョン
実現に向けた部局横断・融合

的な取組を強力に推進すると
ともに、様々な立場の方々に
共感をいただきながら、県政
にも積極的にご参画してい
ただいたうえで、各分野の施策
の有機的な連携を図り、相乗
効果を発揮させてまいりたい
と考えております。

「食」の分野においては、
県内外の方々の長崎の食への
期待値や満足感の向上につな
げていくため、本年はまず、
市町や民間団体等と連携し
て、長崎のおいしい食を買え
る・味わえる場所の創出に力
を注いでまいります。

「子ども」分野において、
子どもたちがあつたらしいな
と思つ、子どもが主役の居場
所づくりの実現に向け、本年
は地域や関係団体など多様な
主体が連携し、分野横断的に
取り組むための推進体制を構
築してまいります。

次に「交流」分野において
は、本県がアニメや小説、お
酒や釣りなど、様々な分野に
おける「聖地」として国内外
から多くの観光客に訪れてい
ただくことを目指し、本年は
多様な分野におけるマニア向
けの情報発信や受入環境の整
備を関係部局が一体となって
取り組む体制を構築してまい
ります。

「イノベーション」分野に
ついては、本県が全国を代表

するドローン活用先進地と
なることを目指し、本年は第
一步として、各産業における
ドローン活用フィールドの創
出とオペレーター育成を図
るためのプラットフォームの
設立等に力を注いでまいりま
す。

「新しい長崎県づく
り」を推進していくためには、
ビジョン実現に向けた各分野
の施策を共通の視点で下支え
する取組が重要であると認識
しております。そのため、今
年度設置した秘書・広報戦略
部を中心として、本県の総体
的なイメージ向上につながる
ブランディングや情報発信に
取り組んでまいります。

今後、県内では大きなイベ
ントも予定されています。本
年7月、全国高等学校総合
育大会が本県を含めた北部九
州4県で開催され、9月には、
国内唯一のシニア世代の総合

スポーツ大会「日本スポーツ
マスターズ2024長崎大
会」が県内10市町を会場に開
催される予定です。

さらに、来年9月には、「な
がさきピース文化祭202
5」(第40回国民文化祭、第
25回全国障害者芸術・文化祭)
が本県で開催されます。今後
一層の機運醸成と情報発信に
努め、市町や関係団体と一体
となって、開催に向けた準備
を進めてまいります。

社会全体のデジタル化な
ど、時代は目まぐるしく変化
しております。私は、こつし
た変革の機会をチャンスと捉
えており、何事にも積極的に
挑戦していくことが重要と考
えております。

また、山積する課題
が注目を集める傾向にありま
すが、本県の持つ多くの可能
性を目を向けることも重要で
す。

ビジョンに示す「未来大国」
のコンセプトは、明るく未来
に向け県民の皆様と一緒にな
って進んでいくこつという思い
を込めています。ぜひ、一緒
に未来に向けて踏み出してい
きましょう。

結びに、本年が皆様にとり
まして、輝かしい年となりま
すよう心からお祈り申し上げ
ます。

一般社団法人 JAPAN STRUCTURAL CONSULTANTS ASSOCIATION
JSCA 日本建築構造技術者協会
 九州支部 長崎地区会
 会員一同
 【事務局】長崎市扇町31-8(株)システムニジュウイチ:池田 宜弘) Tel.095-843-6445 Fax.095-847-5138

長崎県指定登録機関
 一般社団法人 **長崎県建築士会**
 会長 鉄川 進
 〒850-0036 長崎市五島町5-34トールカンマンション713号
 ☎ 095-828-0753 FAX 095-827-7007
<https://www.nagasaki-shikai.jp/>

NAGASAKI Mechanical & Electrical Engineers Association
 一般社団法人 **長崎県設備設計事務所協会**
 会長 永安 久幸
 長崎県佐世保市赤崎町1463-11(株式会社YAS設備設計内) TEL・FAX 0956-28-5173

一般社団法人
長崎県建築士事務所協会
 会長 木場 耕志
 〒850-0874 長崎市魚の町3-3 3長崎県建設総合会館4階
 TEL(095)826-7010 FAX(095)826-7968

郷土をまもり 未来をつくる
 一般社団法人
長崎県測量設計コンサルタンツ協会
 会長 安部 清美
 【事務局】〒852-8108 長崎市川口町6番17号 | TEL.095-845-5257 FAX.095-845-0048
<https://www.nagasaki-ken-sokkyo.jp/>

公益社団法人
日本建築家協会 九州支部 長崎地域会
 J I A The Japan Institute of Architects
 長崎地域会会長 鼻崎 象三
 【事務局】対馬市厳原町北里130-1(株)はなプランニング) Tel.0920-52-4318 / Fax0920-52-4329

「強靱な県土づくり」未だ道半ば

長崎県土木部長 中尾 吉宏



年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨秋のこと、西九州新幹線が開業1周年を迎え、沿線市

を中心とする周辺地域の再開発が進むなか、本年10月には長崎スピアメントの開業が予定されるなど、本県は今まさに大きな変化の中にあります。これらの変化は、交流人口の拡大に繋がる大きな契機となることから、その効果を県内各地へ波及させるよう、道路や港湾などの交通ネットワークの整備・充実を更に推進していくことが必要とされて

います。本県は数多くの島々や複雑な形状の半島で構成されており、全国で2番目に多い3万5千箇所を超える土砂災害警戒区域が指定されるなど、地理的、地形的に厳しい条件を抱えております。さらに近年、日本各地の自然災害は頻発化、激甚化しており、本県も常に災害と隣り合わせの状況にあります。現在、防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策期間に在り、土木部においては、県民の生命・財産・暮らしを守るに支える「強靱な県土づくり」を推進しておりますが、未だ道半ばであり、今後にも必要

漁港・漁場の整備、安全で快適な漁村実現へ全力

長崎県水産部長 川口 和宏



新たな年を迎えるにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。皆様には、日頃から漁港、

漁場及び漁村の整備など水産行政に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。本県の水産業は、安全・安心な水産物を全国に供給する役割を担っており、また、県内の幅広い関連産業を支え、地域の経済・社会の維持に貢献する重要な基幹産業です。県では、令和3年度からスタートした「長崎県水産振

興基本計画」のもと、多様な人材が活躍し、環境変化に強い持続可能な水産業と賑わいのある漁村づくりを目指して、漁港及び漁場整備を含む様々な事業に取り組んでおります。具体的には、安全・安心な水産物の安定供給を図るための高度な衛生管理に対応した荷捌所や耐震を考慮した岸壁の整備をはじめ、大規模災害に備えた防災減災対策や就労環境の改善対策などを推進しています。また、漁場環境の改善を図るため、「長崎県藻場回復ビジョン」に基づく増殖場の整備や漁業者と連携した藻場回復への取組など、水

産資源を育む漁場づくりを進めております。国においては、令和4年度から5年間を対象とした新たな「漁港漁場整備長期計画」が策定され、水産政策の改革に即した水産業の成長産業化に向けた具体的な施策の予算化を進めております。また、漁港における「海業」の推進等により、水産業の発展及び漁業地域の活性化を図り、将来にわたって国民に水産物を安定的に供給していくため、令和5年5月、「漁港漁場整備法」は「漁港及び漁場の整備等に関する法律」に改正されました。

結びに、皆様のより一層の飛躍とご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

事務局 | 長崎市魚の町3-33長崎県建設総合会館3階 TEL095-826-2285 FAX095-826-2289

私たちは建設産業全体の健全な発展と社会的地位の向上を目指します。



一般社団法人 全国建設産業団体連合会

- 会長 岡野 益巳 京都府建設産業団体連合会会長
- 副会長 千葉 嘉春 宮城県建設産業団体連合会会長
- 石津 健光 茨城県建設産業団体連合会会長
- 山野 稔 三重県建設産業団体連合会会長
- 竹内 茂 富山県建設産業団体連合会会長
- 中筋 豊通 島根県建設産業団体連合会会長
- 西岡 義則 愛媛県建設産業団体連合会会長
- 藤田 護 鹿児島県建設産業団体連合会会長

東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目MTビル2号館3階 TEL.03-5473-1596(代表) FAX.03-5473-8352

長崎県建設産業団体連合会



- 会長 根 眞悟 (一社)長崎県建設業協会会長
- 副会長 増崎 博之 長崎県建設工業協同組合理事長
- 北村 政和 (一社)長崎県中小建設業協会会長
- 木場 耕志 (一社)長崎県建築士事務所協会会長
- 上山 信宏 (一社)長崎県建設業協会副会長
- 岩永 堅之進 長崎県管工事業協同組合連合会理事長
- 安部 清美 (一社)長崎県測量設計コンサルタント協会会長
- 小畑 和男 長崎県電気工事業工業組合理事長

事務局 | 長崎市魚の町3-33長崎県建設総合会館3階 TEL095-826-2285 FAX095-826-2289

建設業労働災害防止協会長崎県支部

支部長 谷村 隆三

〒850-0874 長崎県長崎市魚の町3-33
Tel: 095-820-7755 Fax: 095-820-7744 <https://kensaibo.sakura.ne.jp>

JCCCK 公共事業の円滑な推進と公共福祉の増進に寄与します。

一般社団法人 日本補償コンサルタント協会 九州支部 長崎県部会

会長 鵜殿 雅彦

〒850-0034 長崎市樺島町7-6NSビル 長崎総合鑑定棟内 TEL:095-827-3708 FAX:095-823-4610
<http://www.jcca-k.jp/>

快適で儲かる農林業・快適で暮らしやすい農山村の実現へ

長崎県農林部長 綾香直芳



新たな年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。皆様には、日頃から農地や

森林の整備など、本県農林施策の推進につきまして、多大なるご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。
また、鳥インフルエンザ等の家畜伝染病にかかる埋却などの防疫対応におきましても、ひとかたならぬご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。
農林業は、安全・安心な農

林産物の安定供給はもとより、地域における雇用やにぎわいの創出、環境保全など、地域社会や経済を支える重要な基幹産業の一つであります。県では、農業所得の向上を目指し、農地の基盤整備や担い手への集積、労力支援による規模拡大、スマート農業などによる生産性の向上に取り組んでまいりました。なかでも農地の基盤整備完了面積の増加に伴う担い手への集積・集約化による農地の有効活用や高収益作物の面積拡大が図られ、本県の農業産出額の増

加に繋がっているところであります。特に、農地の基盤整備は、生産性向上や産地及び集落の維持、担い手の確保を図るうえで有効な施策であり、今後

も事業推進に必要な予算の確保に努めるとともに新規地区の掘り起こしにも市町と連携し取り組んでまいります。また、安全・安心で快適な地域づくりのため、防災重点農業用ため池等の補強対策のほか、山腹崩壊対策や落石・流木対策等、防災対策につきましても引き続き取り組んでまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

今シーズンも、国内で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されております。県としましては、飼養衛生管理基準順守の指導を徹底するとともに、万が一、発生した場合の初動防疫にも万全を期してまいりますので、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、この1年が皆様にとりまして素晴らしい年となりましたことを祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

担い手確保につながる取組推進

長崎振興局長 田中庄司



年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

長崎振興局では、「長崎県総合計画チャレンジ&チャレンジ2025」の実現に向け、

県都にふさわしい魅力あるまちづくりと災害に強い安全・安心で快適な地域づくりを実現するため、本年も各種事業に取り組んでまいります。道路事業では、産業の振興や交流の拡大を支える規格の高い道路の重点的な整備を進めており、昨年2月には西彼杵道路時津工区が完成し供用を開始しました。今後は、長崎南環状線において、(仮称)江川トンネルの工事進捗を図

るとともに、橋梁工事や土工事を進めていく予定です。これらと並行し、暮らしの利便性や交通の安全性を高める観点から、生活に密着した道路の整備も計画的に進めてまいります。

都市計画事業では、昨年度に事業着手した長崎時津縦貫線(茂里町・滑石工区)について、トンネルや橋梁等の設計を進めているところです。滑石ICと時津ICを結ぶアークス道路についても主要地方道長崎畷刈線(滑石工区)として本年度から事業に着手しており、両路線とも都市計画の変更などの手続きを進め、できる限り早く用地取得に着手できるよう取り組んで

まいります。また、JR長崎本線連続立体交差事業の一環として、長崎駅とスタジアムシティとを結ぶ高架線路沿いの街路整備を進め、主要拠点間の動線確保にも努めてまいります。

港湾事業では、長崎港において昨年3月より国際クルーズ船の受入れを再開したところですが、依然として寄港の要請を多くいただいております。更なる受入体制の充実を図るため、松が枝岸壁の2バース化を引き続き推進してまいります。

漁港事業では、長崎漁港において、荷捌所の改良や岸壁の耐震化などを実施中であり、岸壁の耐震化については1月中の完成予定としております。その他の施設についても引き続き整備を行い、水産流通基盤の機能強化に取り組んでまいります。

防災面においては、道路法面等の災害防除12箇所、河川改修4箇所、砂防及び急傾斜地崩壊対策53箇所、海岸高潮対策4箇所のハード事業に加え、ソフト事業として土砂災害警戒区域の指定にも取り組んでまいります。また、浦上川の抜本的な治水対策として浦上ダムの再開発にも着手したところであり、今後数年間で貯水池の掘削とダム本体の嵩上げを実施する予定です。建設業は地域の守り手であ

魅力ある建設業の実現に向けて

一般社団法人

長崎県建設業協会 五島支部

支部長 浜田 哲男 副支部長 今村 伊久雄

他 会員一同

〒853-0032 長崎県五島市大荒町343 Tel(0959)72-2606 Fax(0959)72-6398



一般社団法人

長崎県建設業協会

会長

根 眞悟

副会長

上山 信宏 東房 昭一

下田 幸廣 中原 達夫

〒850-0874 長崎市魚の町3番33号 長崎県建設総合会館3階

Tel(095)826-2285 Fax(095)826-2289

多様な産業が発展する活力ある地域と
安全・安心なまちづくりを目指す

県北振興局長 村山弘司



新年明けましておめでとう
ございます。皆様におかれま

しては、健やかに新春をお迎
えのごとお慶び申し上げます。
また、公共事業はもとよ
り、県北振興局の各種事業の
推進に特段のご理解、ご協力
を賜りますとともに、令和5
年9月中旬に平戸市、松浦市
方面において発生した大雨災
害の際には、迅速な応急対応
や早期の復旧工事に努めてい
たなど、災害支援にご協
力いただいておりますことに
重ねて御礼申し上げます。
本年は、長崎県総合計画チ
ェンジ&チャレンジ2025
の4年目を迎え、仕上げの段
階にさしかかります。県北振
興局としまして、一昨年に
開業した西九州新幹線の効果
を最大限、県北地域にも波及
させることが重要で、西九州
自動車道や国際クルーズ拠点
の整備推進、海上輸送の拠点
や水産業の基地となる港湾漁
港等とも連携し、西九州の玄
関口として多くの人や物の流
れを取り込み、多様な産業が
発展する活力ある県北地域の
実現に向けて、全力で取り組
んでまいります。
また、近年の気候変動の影
響により、激甚化・頻発化し
ている集中豪雨や台風などの
自然災害から生命や財産を守
るために、地域や県民の防災
力を高めるとともに、河川・
砂防事業といった災害に強い
社会基盤の整備など、ハード
・ソフト一体となった防災・
減災対策に取り組み、「安全
・安心なまちづくり」を目指
していきます。
建設産業は地域経済を支
え、雇用を創出し、社会資本
の整備を担う重要な産業であ
ります。さらに災害時には「地
域の守り手」として、復旧・
復興という大いなる役割を担
っております。今後とも建
設産業に携わる皆様ととも
に、県北地域の更なる活性化
、安全・安心の確保のために
、職員一同、全力で取り組ん
でまいりますので、引き続きご
協力を賜りますようお願い申
上げます。
最後になりましたが、皆様
の今後益々の発展とご健勝
を心からお祈り申し上げます。

発展する地域産業を支える
基盤整備の推進と担い手の確保

県央振興局長 井手美都子



新年明けましておめでとう
ございます。新年を健やかに
お迎えのごとお慶び申し上
げます。

九州新幹線が整備されたこと
により、その役割が高まるこ
とにも産業、住宅、商業施設
などの集積が進み、更なる発
展が見込まれています。新幹
線開業から1年を経過しまし
たが、利用者はコロナ禍前の
在来線特急を上回り、長崎空
港も有する県央地域は、県外
海外から長崎県への玄関口と
しての役割も大きくなつてき
ております。
このようなか、県央振興局
では、地域間の交流促進や市
街地の渋滞緩和対策並びに歩
行者の安全安心を確保するた
め、諫早市においては、一般
国道207号「東長田拡幅」
及び一般県道久山港線「久山
工区」などの事業を、大村市
においては、一般国道444
号「久良原工区」及び主要地
方道大村貝津線「西部工区」
などの事業を進めておりま
す。
また、安全・安心な暮らし
を守るため、大村市において
は、防災・減災対策として、
佐奈河内川の災害復旧助成事
業について早期完成に努める
とともに、今年度、二級河川
大上戸川の河川改修事業に着
手したところです。一方、諫
早市においては、土砂災害対
策として、令和6年度から岩
下地区の急傾斜地崩壊対策工
事を開始する予定であり、事
業効果の早期発現に向け、鋭
意事業を進めてまいります。
併せて、近年の気候変動によ
る水害の頻発・激甚化に対応
するため、「流域治水プロジ
ェクト」を自治体単位で策定
し、あらゆる関係者が協働し
て流域全体での防災・減災の
取り組みを進めてまいりま
す。
加えて、県央地域は、平野
部から中山間、諫早湾干拓地
と恵まれた地形を活かし、多
様な農業が営まれており、県
央振興局として農林業の振興
にも力を入れています。農業
と農村地域の活性化や安全・
安心な農村環境の実現に向
け、農地や農道の整備、ため
池の改修などに計画的に取り
組むとともに、森林の持つ多
面的機能を持続的に発揮する
ための森林・里山の整備や、
山地災害危険地区箇所解消
及び山地災害の復旧工事を進
めてまいります。
以上のようなか社会基盤の整
備を推進するために、その担
い手となる建設業は、地域社
会に欠かせない重要な産業で
ありますが、建設業の人材確
保は大きな課題となっており
ます。そのようなことを踏ま
え、振興局としまして、適
正な公共工事の執行と合わせ
て、建設業に対する理解を深
め、業界の人材確保につな
がる出前講座や、管内高校への
企業説明会などに建設業協会
支部の皆様と連携し、引き続
き取り組んでまいりますので
皆様のご理解、協力をお願い
いたします。

諫早市及び大村市を中心と
した県央地域は、県内交通の
結節点として重要な役割を果
たしてきましたが、さらに西

謹んで新年のお慶びを申し上げます

2024年1月

一般社団法人 長崎県港湾漁港建設業協会

会長 山口 雅二

長崎市魚の町3-33 長崎県建設総合会館 3階 TEL 095-818-5466 FAX 095-826-9233

一般社団法人

長崎県建設業協会長崎支部

支部長 川島 邦元 副支部長 武藤 剛 副支部長 大田 光敏
外 会員一同

〒850-0874 長崎市魚の町 3-3 3

TEL(095)826-2291 FAX(095)826-2287

一般社団法人 長崎県漁場整備開発協会

会長 柴田 久直

長崎市魚の町3-33 長崎県建設総合会館4階 TEL 095-821-0236 FAX 095-821-0247

一般社団法人 長崎県中小建設業協会

会長 北村 政和

〒850-0037 長崎市金屋町9番3号

TEL 095-824-4028 FAX 095-824-7563

「島原半島の強みを活かす」 事業の推進

島原振興局長 近藤 和彦



お迎えのこととお慶び申し上げます。

あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春を

島原振興局では、「長崎県総合計画アクション&チャレンジ2025」において、地域づくりの方向性の一つとして掲げている「島原半島の強みを活かした力強い産業づくり」に基づき、農業や観光業などの基幹産業をはじめとする地域産業の発展に向けた各

種事業を推進しております。まず、農地の基盤整備は、「快適で儲かる農業」を実現するうえで必要不可欠であり、現在12地区の整備を実施しております。令和6年度は新たな整備地区として、島原市有明町の東大地区を予定しており、更なる事業の推進に取り組んでまいります。

自然、文化、歴史を背景とした観光資源の魅力をさらに発信するとともに、多くの観光客に島原半島を訪れていただく機会としてまいります。そして、地域産業を支え、社会・経済活動や住民生活に寄与する社会資本の整備としては、高規格道路「島原道路」の「出平有明バイパス」「有明瑞穂バイパス」「瑞穂吾妻バイパス」が管内の全線にわたり事業化され、早期完成に向けて事業の推進を図るとともに、県道小浜北有馬線の「大亀ヶ矢代工区」や、国道389号の「多比良バイパス」などの道路改良も進めてまいり

ます。また、越波による被害を受けた小浜港において、海岸防潮対策事業を進めており、令和6年度の事業完成に向けて取り組んでまいります。さらに、住民の安全安心を確保するため、河川や砂防施設の整備に加え、老朽化した農業用ため池の改修や地すべり対策など防災対策についても、積極的に推進してまいります。

建設業は、地域のインフラ整備や維持管理の担い手であると同時に、地域経済を支え、災害発生時には迅速な復旧作業により地域の安全を守る重要な産業です。振興局といった

五島地域のインフラ整備と 安心安全の守り手となる建設業の支援

五島振興局長 入口 健治



新年あけましておめでとうございます。健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

五島地域では、Uターン者が5年連続で200人を超えるなど、人口流出が抑制されている傾向にありますが、

特に若い層を中心とした県外流出は続いており、将来に向けての労働人口減少が地域経済や産業活動に大きく影響すると感じています。

地域の守り手である建設業の入職者を増やしていくための取組として、頻発・激甚化する自然災害から県民の生命・財産・暮らしを守るために必要となる強靱な県土づくりやインフラ老朽化対策、農地の生産基盤整備や林業施策の路網整備などの予算を安定的に確保していくとともに、適

正工期の確保やICT技術の

施工などによる工事を積極的に発注し、働きやすい職場環境づくりに努めてまいります。

具体的な取り組みとして道路事業では、五島市の福江市街地と旧富江町を結ぶ幹線道路である主要地方道富江富江線の道路改良工事（浜工区）が昨年3月に完成し、一般県道大浜福江線の交通安全施設等整備工事（下崎山工区）が今年3月に完成予定であります。現道の拡幅と歩道の新設により、安全で円滑な交通環境の確保が図られました。このほか、主要地方道玉之浦大宝線（立谷工区）、一般国道384号（白魚バイパス）などにおいて道路改良工事を進めてまいります。

河川・砂防事業では、琴石川と妙泉寺川の砂防ダムが昨

年3月に完成し、人家や国道市道の土砂災害の防止が図られました。このほか、洪水の被害を防止し良好な河川環境を創出するために後の川、釣道川などにおいて河川改修工事を、また中木場川、宮ノ上川などにおいて砂防ダム建設

港湾・漁港事業では、奥浦漁港の水産流通基盤整備事業と荒川漁港の水産生産基盤整備事業が昨年11月に完成し漁業就労者の安全性の向上や就業環境の改善が図られました。このほか、大型化する台風などに対する定期航路等の安定就航を図るために有川港や崎山漁港、奈良尾漁港などにおいて港湾や漁港の改修工事や海岸工事を引き続き進めてまいります。

農村整備事業では、水田の

農地整備事業である久賀地区は区画整理が昨年3月に完成し寺脇地区においても引き続き進めており、農地の集約化と規模拡大による農業経営の安定化が図られています。また、寺脇地区は県内有数の畑地帯であることから畑の区画整理も進めており、富江・日出地区は今年から工事に着手する予定であります。ため池は堤体の決壊を防ぐために長沢と永田上の工事に着手しました。

森林土木事業では、地域防災対策総合治山工事（横道地区）が昨年7月完了し、人家が密集する地域生活の安全が図られました。濱ノ畔地区においては、機能強化・老朽化対策事業により今年から防潮堤の補修工事に着手し、矢神地区においては予防治山事業

など引き続き進めてまいります。建設業は、建設労働者の減少や高齢化により、働き方改革や生産性向上など大きな変革期にきていますが、今後もインフラの整備・維持のため公共事業を着実に進め、五島地域の皆様の安全・安心な暮らしを守り、地域経済や雇用を支える産業として重要な役割を果たしていくものと考えています。建設業に携わる皆様には新たな建設業への取組みも含め、より一層のご活躍を期待しております。結びに、本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう心からお祈りし、新年のご挨拶といたします。



一般社団法人 **長崎県空調衛生設備業協会**
会長 **曾和 輝正**

〒850-0026 長崎県長崎市古町54番地 管工事会館内
TEL:095-824-2611 FAX:095-895-7637

未来をもっと、明るく。

長崎県電気工事業工業組合

理事長 **小畑 和男** 【こばた電設(株)】
五島支部長

副理事長 **柴田 正明** 【(株)新光電気】
【長崎電気(株)】
長崎支部長 佐世保支部長

島原支部長 **西田 敦志**
【西田電気通信(株)】

辻 政信 【辻電機産業(株)】
大村支部長 **田村 瑞男** 【(株)三恵電業】
諫早支部長

〒852-8016 長崎県長崎市宝栄町23-23

TEL.095(862)1975/FAX.095(862)1337 <http://nagasaki.koso.com/>

地域経済活性化へ 壱岐市と一体で取組

壱岐振興局長 小畑英二



謹んで新春のお慶びを申し上げます。
皆様方には、お健やかに新

年をお迎えのことと存じます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が「5類」へ引き下げられ、各種旅行支援等の効果もあり、多くの観光客の皆様が壱岐を訪れていただき、賑わいある壱岐が戻りつつある年となりました。

建設関係皆様におかれましては、地域社会の基盤を支え

るインフラ整備や、近年、頻りにます。
また、地域の利便性・快適性・機能性を高めるための道路整備を引き続き推進し、一般県道渡良瀬浦初瀬線道路改良工事（坪触工区）などの事業を進捗を図り、国・県道網の一層の整備に努めてまいります。

壱岐振興局では引き続き、災害に強く、命を守る県土強化に向けた施設整備やソフト対策を推進していくこととしてまいります。

具体的には、二級河川内の堆積土砂除去などの洪水対策や、花川砂防工事をはじめ、地すべり対策事業や急傾斜地崩壊対策事業などの土砂災害対策を継続して進め、住民の皆様方が安全で安心して暮らせるしまづぐりに努めてまいります。

さらに、農業の生産性の向上を図るため、郷ノ浦町木田地区での農地中間管理事業を活用した基盤整備をはじめ、農業水利施設の補修更新などの生産基盤整備を計画的に進めてまいります。また、老朽化が著しい農業用ため池の改修を計画的に進め、農村地域の安全・安心の確保に取り組みんでいきますとともに、保安林の機能強化を目的に、林地災害の予防を行う治山の整備にも取り組んでまいります。

加えて、県管理の港湾・漁港において、安定的な海上輸送活動の確保や漁業従事者の就労環境改善のための施設整備に取り組みしておりますが、本年は、郷ノ浦港のジェットフォイル用浮桟橋工事の進捗を図るなど、更なる整備に努めてまいります。

維持のための雇用創出・拡大に係る事業や、交流人口拡大に向けた魅力ある観光地にするための取組も推進しているところですが、

これらハード整備以外では、壱岐島をはじめとする有人国境離島地域において、有人国境離島法による地域社会

本年も引き続き、各種施策を有効活用し、回復基調にある県内外からの観光客の更なる取り込みや良質な観光資源の活用に向けて、壱岐市と一体となって取り組んでまいります。

結びに、本年の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといった

魅力的で活力ある対馬再生に向けた 人材確保と若者定住の促進

対馬振興局長 陣野和弘



新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

対馬では、昨年比田勝港と韓国釜山港を結ぶ国際定期便の復活やコロナウイルス感染症の5類移行に伴い、韓国人観光客も戻り始めています。また、5月には4年ぶりに大型クルーズ船も寄港しています。

対馬は、南北に長い島であり、厳原港と比田勝港を結ぶ道路網の充実など、社会基盤の整備・拡充はまだ不足しております。観光客の利便性向上のみならず、市民の皆様が安心して生活を確保し、あらゆる経済活動を維持・発展させていくためには、「地域の守り手」となる建設業界の協力が必要不可欠であり、その果たす役割は、依然として大きいものがあります。

しかしながら、対馬の建設業界に目を向けますと、人口減少と少子高齢化が進み近い将来に深刻な技術者不足が懸念されています。

このため、対馬では、島内企業の人材確保と若者定住の促進に向け、県、対馬市、建設業協会と共同主催で、約100人の方に参加いただいた昨年11月の「土木の日in対馬2023」のイベントをはじめ、対馬振興局主催の企業説明会や各種セミナーの開催、職場体験や講話など中学生の段階から高校卒業まで切れ目なく様々な取組を行い、若者の担い手確保に努めているところであり、本年も同様にしつかりと取り組んでまいります。

方道厳原豆酸美津島線「尾浦」安神工区、「吹崎工区」及び国道382号「檜滝工区」の事業促進。港湾漁港事業では、人流・物流の拠点となる比田勝港の浮桟橋の増設や厳原港の港湾緑地の整備、水産業の基盤である漁港の機能増大の促進。河川砂防事業では、住民の生命・財産を守る「佐護川」、「田川」の河川改修、「加藤川」、「坂ノ間川（イ）」の砂防、「賀谷（一）地区」の急傾斜地対策の促進。農林事業では、「舟志地区」、「阿連地区」などの治山工事の整備を行うこととしておりま

結びに、本年が皆様にとりまして希望溢れる素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

引き続き、本年も、地元建設業者の皆様をはじめ、市民

引き続き、本年も、地元建設業者の皆様をはじめ、市民

引き続き、本年も、地元建設業者の皆様をはじめ、市民



私たちは、瓦屋根づくりのプロとして常に快適な住環境を提供します 長崎県瓦工事業組合

全瓦連 理事長 吉川 勝彦
一般社団法人 全日本瓦工事業連盟 長崎市西海町1700-27 (街吉川商事内) Tel.(095)884-3306 Fax.(095)884-3517

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 共栄住建 (株) TEL.0957-43-3104 | (有)丸浩商店 TEL.0957-23-2888 |
| (株)谷口商事 TEL.095-838-3660 | (有)やね匠 TEL.0957-72-2056 |
| (株)富建 TEL.0957-47-1822 | (有)吉川商事 TEL.095-884-3306 |
| 長崎レインボーいらか (株) TEL.095-814-3311 | 西瓦産業 TEL.0957-32-2518 |
| (株)鍋順 TEL.095-882-8091 | (有)植田瓦工業 TEL.095-882-1309 |
| (有)林田瓦店 TEL.0957-63-3664 | (有)長崎県北瓦流通センター TEL.0956-41-1183 |
| (株)本田セメント工業所 TEL.095-838-3058 | (有)トミショウ TEL.0956-85-7543 |
| (有)アーバンルーフ TEL.095-881-7363 | (株)山創 TEL.095-884-0771 |

一般社団法人 長崎県交通安全施設業協会

会長 大門 雅一 相談役 坂本 強
事務局 / 〒854-0065 長崎県諫早市津久葉町5-140(長星安全産業(株)内)
TEL (080) 5248-1740 FAX (0957) 25-5117

- 【会 長】(有)西九州ライン 【副会長】(株)安全総業 【相談役】長星安全産業(株)
【専務理事】日本乾溜工業(株)長崎支店 【理 事】(株)エナミ道路標識 (株)西日本ライナー
【監 事】(有)一良建設 (有)シカタマテリアル

協 会 員

- (株)興和開発 信和産業(株) 大山建設(株) (有)サンセイ
対馬道路サービス(株) フェンス工業(有) (有)ラインサービス 京テック(有)
ミカドコーポレーション(株) 日本ライナー(株) ロードライン(株)
佐世保支店 長崎営業所 長崎支店